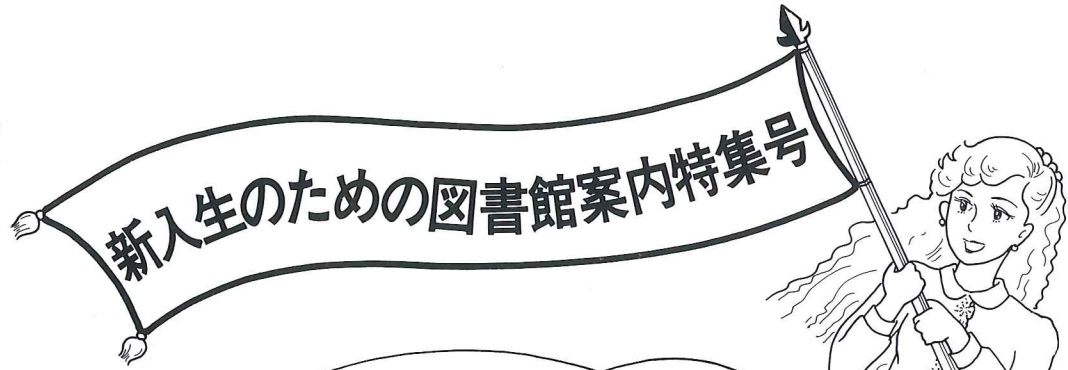




すだち

徳島大学附属図書館報 No.39

1989.4.



新入生のみなさ～ん!
御入学おめでとうございます!
みなさんが図書館をお使いになるときの
案内をいたしま～す!!

「すだち」! 皆さんの情報誌です。

「すだち」投稿募集!

図書館での発見を,
図書館での貴重な体験を,
図書館でのあの感動を,
発表してください。

あの発見を, あの感動を, あの貴重な体験を,
自分だけのものにしないで,
ほかの仲間にもわけてあげようではありませんか
くわしくは閲覧カウンターまで。

図書館利用の相談にのってくれる人たち



尾原忠雄さん
黒一点がんばってます



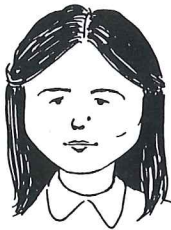
滝山奈美江さん

気は優しくて力持ち♡
図書館のことならすみずみまで
わかるけん、まかしといて!



そまともとも子さん

本をさがす方法教えます



あいはらみえこさん

秘めた ne-tsu-i



くすみかずよ代さん

どんどん借りてね!



たかたよし枝さん

ハンドスキャナー 一筋ッ!!

私の図書館像

松本美穂

“図書館”という単語から、どんな事を想像するかは人それぞれだと思いますが、私は自分が知らない色んな方面の多くの事を、内に潜めて本が並んでいるという、静かですっきりと重みのある所、という感じがします。本を探しながら、書棚と書棚の間を歩いている時、そんな、ずっしりくる重みを感じることでありませんか。また、書庫に入ると、ふう〜んと古い紙の臭いがしてくると同時に、冷やとした空気が、動きの激しい外界から孤立して、ここだけが時間が止まっているというか、空気の動きがないというか、そんな感じを受けます。要するに、私にとって図書館とは落ち着ける場所のようです。

しかし、3年間の大学生活を振り返ってみると、図書館へよく通ってた割には、あまり本を読まなかったなあという気がします。大学では、今迄よりも自分の自由になる時間が増えると思うので、その時間を有効に使う方法のひとつとして、本を読んで下さい。特に、自分の専門の、入門書的な軽く読める本を読んでもらうことをお勧めします。最初っから難しい本では嫌になることが多いと思うので、アウトラインをつかむつもりで読める本を、探してみてもいいでしょうか。専門の授業での理解が速く、かなり役立つと思います。とにかく、図書館へ行って利用証を作らしましょう。(薬学部4年)

図書館のすすめ

渡辺健一

私の大学生活も4年目を迎える。つまり、3年間にわたって、附属図書館を利用してきたわけであるが、その利用法なるものを述べてみたい。

まず、入学前(浪人中)に予備校の英語の〇〇先生(名前を出すと御存知の方もいると思う。Graham Greeneを専門にやっている人)から言われたことを述べたい。①ヒマがあるということ。②図書館で本を借りて万巻の書物を読むことができるということ。③ひとり

で思索することができる孤独な部屋があるということ。④運動したり、ひっくり返ることのできる広いキャンパスがあるということ。この4つが満たされていたら、理想的な大学生活が送れる。You will lead a wonderful lifeと言われたのを覚えている。①に関しては、実感する。③、④は徳大にはないのではないだろうか?図書館の館報“すだち”ということもあり、②について深く触れていきたい。

図書館を利用するに際して最初のやらなくてはならないのは、「図書館利用証」を作ることではなかろうか。別に、これがなくとも自由に出入りできるわけだが、借りることができない。いつでも本(CD、LDも)を借りられるように作っておきたい。(私の周りにも3年になってようやく作ったという人が数人いたが、そのようなことないように!!)

「図書館にはあまり本がない」という人がしばしばいるが、もしそういう先輩や友人を見かけたら、その人の為に涙を流してもらいたい。何故なら、必ずしも量・質ともに充実しているとは言いがたいが、学部段階で参考にする本が揃っているはずであるからである。そしてまた、開架されている(外に出ている)本がすべてではなく、書庫内にもある。もし探してみなければ、カウンターの人に聞いてみるとよい。書庫から出してくれたり、〇〇先生のところにあると教えてくれたり、徳大にはないが△△大学にあると調べてくれたり…。何事もそうかと思うが、どうしてもわからなければ、どんどん質問することである。必ず親切に教えてくれるはずである。しかし探しもせずに、「××はどこにあるか」と聞くのだけは避けたい。

本を借りる以外に、図書館にはいかなる利用法があるだろうか。散歩する公園である。ヒマを見つけて棚の間を歩いてみる。何げなく眺めていた本が後で役に立つ、ということもあるのです。憩いの場所である。静かなせいもあり、よく居眠りができますし、何よりも、CD・LD・VTRが利用できるという素晴らしい設備もある。

また、よその大学の図書館もたまに利用するといいたいだろう。県外の人が帰省したとき、徳大ではどうしても資料が見つからないときなど。

私設図書館(本屋さん)で立読みするだけでなく、大学のシンボルである図書館も有効に使って欲しい(私も残り1年、有効に使いたい。)(総合科学部4年)

平成元年度 開館日

四 月	日	月	火	水	木	金	土	五 月	日	月	火	水	木	金	土	六 月	日	月	火	水	木	金	土
						①			1	2	③	④	⑤	6						1	2	3	
	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑦	8	9	10	11	△	13		④	5	6	7	8	△	10
	⑨	⑩	11	12	13	△	15		⑭	15	16	17	18	19	20		⑪	12	13	14	15	16	17
	⑯	17	18	19	20	21	22		⑰	22	23	24	25	△	27		⑱	19	20	21	22	△	24
⑳	24	25	26	27	△	㉑	㉒	29	30	31	㉓	26	27	28	29	30	㉔	30					
㉕																							
㉖																							
㉗																							
㉘																							
㉙																							
㉚																							
㉛																							
㉜																							
㉝																							
㉞																							
㉟																							
㊱																							
㊲																							
㊳																							
㊴																							
㊵																							
㊶																							
㊷																							
㊸																							
㊹																							
㊺																							
㊻																							
㊼																							
㊽																							
㊾																							
㊿																							

○印……休館 □印……月一金 9:00~17:00 無印……月一金 9:00~20:00
 △印……午前中休館 土 9:00~12:30 土 9:00~16:30

＝あ と が き＝

「すだち」No.39は、新生生の皆さんのための図書館案内特集号としました。図書館をいかに上手に利用できるかが、大学時代を左右するといっても過言ではありません。おおいに図書館を利用して有意義な大学生活を送ってください。幸運を祈ります！ (K.O.)